

区分	番号	項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	これからの対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	90%	10%		・十分な広さではない	毎日1～2回は近くの公園で活動やお外遊び等行っているため継続していきたい。 2つある建物の部屋や庭等使いスペースの有効活用をしている。雨天でも広く部屋を使えるようグループ分けするなど工夫している。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	100%				定員10名に対し、現在正規・非正規職員合わせて6名（児発管・保育士3名・児童指導員6名・指導員）が在籍し、状況に応じた配置もなされており適切であるが、更に職員の専門性や経験値を高められるような取り組みを展開していきたい。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	70%	20%	10%	・十分な広さではない必要は無いと思うが整備はされていない。	借家であるためバリアフリーに対する大きな改修はできないが、利用児一人ひとりが危険を感知でき、それに対応できるような支援等行っているため継続していきたい。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	100%				今後も定期的な懇談等を行い細かな情報交換を行いながら、お子さまに合ったプランを保護者様と共に作成していきたいと思えます。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	100%				専門指導の先生にもご指導いただきながら、今後もお子様が楽しみ、保護者様にも共感いただける活動を考えて取り組んでいきます。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	50%	40%	10%	・コロナの影響もあり交流できないことは仕方ないと思う。	段階的に交流の機会を持てるよう計画していきたい。子どもたちの交流は持っていないが、職員の意見交換等の交流は持つようにしている。お子様また保護者様とも事前に相談し、計画を練っていききたい。
	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%				できる限り丁寧な説明に心がけています。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%				報連相を怠らず共通理解を深めていきたい そのための手段を今後も更に工夫していきたい。

保護者への説明等	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%				面談は定期で実施している。要望があったり必要があればその都度対面・電話・ZOOM等にて面談を実施している。職員が助言するにあたってのスキルを身につけていくため個々のレベルアップを図っていきたい。引き続き安心して相談や面談ができる環境づくりに取り組んでまいります。	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	40%	50%	10%		・コロナの影響もありできないことは仕方ないと思う。	保護者会等の組織が無いが、要望があれば作ることも検討していききたい。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%					苦情は特になかった。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%					軽微な情報はSNSを活用し柔軟な対応ができていますが、情報の保護の部分においてSNSの活用を十分気を付けていききたいと考えている。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	100%					毎月のお便り発送は開所当初から欠かさず行っており今後も継続していきます。活動予定もより細かくねらい等も載せており読みやすいよう作っているが、要望等も取り入れながら更に充実した情報発信に心がけていききたいと思います。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	100%					
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	100%				本当によく対策されていると思います。	今年度は感染予防に関してマニュアルを再度見直し、それを発信した。その時に合ったマニュアルになるよう更新して、それをしっかりと発信していききたい。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	100%					毎月実施しているが実施報告を保護者には写真等で行っている。今後も目に見えるような形で行っていく。
	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	100%				・とても楽しみにしています。	皆様の貴重なご意見を生かして今後も魅力ある事業所になれるよう日々努力していききたいと思います。

満足度	⑱	事業所の支援に満足しているか	100%		・満足しています。	<p>嬉しいお言葉ありがとうございます。これからもお子様方の心を育む取り組みや活動を考えて職員が一丸となり療育やサポートに当たりたいと思います。要望に関しても遠慮なくお伝えください。</p> <p>ゆずの良いところは職員が仲の良いということだと思います。その雰囲気を大切に毎日笑顔でお子様や保護者様をお迎えしたいと思います。</p>
-----	---	----------------	------	--	-----------	--

区分	番号	項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点、改善内容
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			部屋を振り分けるなど活動に最適なスペースを確保している
	②	職員の配置数は適切であるか	○			定員10名に対し、現在正規・非正規職員合わせて6名（児発管・保育士3名・児童指導員6名・指導員）が在籍し、状況に応じた配置もなされており適切であるが、更に職員の専門性や経験値を高められるような取り組みを展開していきたい。 専門指導に関しては外部講師をお願いしているが今後も継続していきたい
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			借家であるためバリアフリーに対する大きな改修はできないが、職員ができる範囲で設備の整備を行っている
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			人事考課を導入し運用している 人事考課の中で目標を設定し1年を通してPDCAサイクルを回しながら取り組んでいる 職員とは年に2回以上の面談を行い、人事考課における結果等のフィードバックや様々な意見交換を行っている
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートの実施と公表、また結果を職員に周知し全員で改善に対する取り組みを行っている
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			アンケートの実施と公表、また結果を職員に周知し全員で改善に対する取り組みを行っている
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価は未実施
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部研修は計画に基づき実施 外部研修は必要に応じて積極的に参加していきたい
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者との面談を定期的実施している
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			専門指導職員とも連携しより効果的なツールを使用するため備品整備も含め行っている
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎月担当者を中心に立案している プログラムのマンネリ化を防ぐため複数で担当したり細かな打合せの下作成している
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節に応じた活動や事前に受けた予約の状況を踏まえ固定化しないよう利用者が楽しめる内容を考えている その時に必要と思う内容の活動を個別でも実施している
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休みでは療育時間が長く取れることから普段取り組めない課題を行っている。また個々の成長に合わせた活動や次の段階に向けた取り組みを組み入れたプログラム（SSTを含む）を利用児・保護者に伝え取り組んでいる。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			全体のバランスを考慮し作成している
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝利用児の確認・活動の確認、職員配置から実施している コロナの影響もありZOOMも取り入れながら引継ぎ等実施している

	⑩	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点などを共有しているか	○		毎日ミーティングを行い振り返りをおこなっている 記録もとり、ミーティング不参加職員には別途連絡している コロナの影響もありZOOMも取り入れながら引継ぎ等実施している
	⑪	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		気づき・振り返り等も含め記録をして、支援に問題点があれば検証・改善に対する会議や研修を実施している
	⑫	定期的にもニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		児発管を中心に関係機関との協議、担当者との打ち合わせ等実施し見直している
	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○		
関係機関や保護者との連携	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		会議には管理者・児発管が参加している
	⑮	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		学校によっては毎月確認調整を行い、その他でも年度初め、学期の切り替わり時期等を含め連絡調整を行っている また行事年間計画をいただく等学校行事の把握を行い行事によるストレス等配慮できるように努めている
	⑯	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在は在籍していないが必要に応じて行っていきたい
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		直接情報交換・共有を行っている
	⑱	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	未だ事例がないが、今後機会があれば確実に行ってきたい
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		機会があれば研修に参加しており、専門機関との連携も図れている
	⑳	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	近隣の児童クラブや児童館等と連携し今後定期的に設けていけるような努力をしたい
	㉑	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		矢板市の主催する会議へ管理者・児発管が参加している
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		個別学習後のフィードバックの時に情報交換をしながら相互理解を図っている
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		毎月実施している個別学習後の面談を通し行っている 適宜面談やオンライン面談を通し行っている
保護者へ	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時・変更時に行っている
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		個別学習後の面談は定期的実施しており、助言や支援を行っている 要望に応じた個別面談や急な面談にも対応している
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者会等はないが、保護者が集う場の提供を以前は毎月実施していたが、現在はコロナの影響もあり実施できていない
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		迅速な対応に心がけている

の 説 明 責 任 等	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月お便りを発行している 専用のSNS（LINE@）も活用している
	③5	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		事務室にて管理している 職員間においても情報の管理に関する注意喚起をしている
	③6	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		絵カードの使用等工夫している 意思疎通を図るツールは学校やこども園等とも連携し共通のものを使用することで子どもたちが困らないよう配慮している
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		地域で開催されるイベントへの参加をしたり、地域交流行事（ゆずフェスタ）を開催して地域との交流を図っている また毎月一回近所のごみ拾いを交流の一環で行っている
非 常 時 の 対 応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	○		マニュアルは整備され、訓練の実施も毎月実施しているが保護者へ実施内容がわかるよう伝達していきたい
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月実施している
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		委員会を設置し研修計画に基づき実施する
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	身体拘束の実態がない
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	○		保護者からの聞き取りで把握はし、医師の指示書も必要に応じて確認している
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット報告書をまとめ、重要案件は研修を通して対応の協議等を原則毎月行っている